ボ大会U‐

底を呼びかけ、検温・手の

コロナ感染予防対策徹

L×レイソ モラー

バックアップのもと実施。 む目的で、モラージュ柏の

優勝チーム

2018

負けるな

内

環境を

ミニサッカー

消毒は勿論、

保護者には

レイソルTOR U-12 モラージュカップ 開催!!



「地域の子ど

していても参加可能。

今回の大会は育成クラ

ーツパーク 屋上のスポ

ークラブは、柏市花野井

トーアサッ

にあるサッ

カークラブ

『育成クラス』は、男女を

わず、他クラブに所属

、モラージュ

拍手での応援をお願いし 声援ではなく、惜しみない

リーグ・日 イソルのトッ フチームやJ 手のの

地域から柏

上」と「将来、 レベルの向 をたちの競技 T組・R組各4チーム(全 、生40人が参加。参加者を スリ - 12の3年生~6年 戦を繰り広げた。 分から全12試合のリー 8チーム)に分け、9時45 スタート時の気温9度 月も後半に入り、

白熱した試合となった。ボールを追い、各チーム チーム、準優勝ブルーチ 結果、T組・優勝レッド ム、3位イエローチー

ウェア・手袋や、モラージュが授与され、参加者には が超りまれ、参加者には 柏内で使用可能な商品券



レイソルTOR

の調子も良くなって、美肌 腸内環境が整うと、お肌

北海道産 菊芋**▼** ■00%

使用

1000

6包入

に一役買ってくれそう

カアップも期待できます

か、選手たちは、積極的に晴れ時々曇りの天気のな 優勝ブルー レッドチーム、4位ホワイ チーム、3位

、られます。

食塩相当量0.0g 脂質0.1g

平日9:30~16:30(土・日・祝休み)

株式会社ファーム・ジャパン

トチー

ムと言う順位とな

大会の記録写真展 働きがあるので、便秘解 を整え、摂取した糖を包 まれています。腸内環境 み込んで体外に排出する うのおよそ二倍以上も含 リン」が豊富!なんとごぼ 水溶性の食物繊維「イ最近話題の『菊芋』:

長引くコロナ禍で運動 なんだか最近便秘 を叶 え

気味で…という方も多い 雑「イヌ は のゼリータイプで、つるっのゼリータイプで、つるっいいことづくめの「菊 糖の吸収を抑え 押制し血糖・シャと言われ KIKUIMO BIJIN 菊芋美人ゼリー ゼリータイプ / ピーチ珠 内容量 / 120g (20g×6位) 楽養成分 1/0 / 20g 当たり エネルギー50.0kcal 炭水化物 17.0g たんぱく質0.8g

特別価 ご **・価格21**0 します。

今回は紙面限定商品 プ・ピーチ味) 6 包入り、 『菊芋美人』(ゼリータイ 通常価格4200円(税別

『東葛まいにち』次号発行日は 2021 年 2 月 24 日です。

ホームページ

『東葛まいにち』は、地域の毎日新聞、産経新聞、東京新聞、 および日経新聞の一部に折り込まれます。 新聞購読お申し込みはお近くの新聞取扱い販売店へ。

ラージュ柏×マルバ

全校合同ミニサッカー大会



4チームに分 緑・柏SSS (黄)チームの ーク・グレー・ 試合は、 なかった。

始時11度、曇り時々晴れ最高気温14度、試合開 ためセレモニーは行われ の天気。コロナ感染予防の 予選では、コーチが各

と言うルール。 1本、決勝は前後半5分 試合を開始。予選は7分 賞品が贈られた。

ュ柏店内において、随時開催中 り広げられた。結果、3対0で予選 1位の緑チームが勝利を掴み、 人賞した両チー (会の記録写真展示は、モラ ムが準優勝となった。 ムへはメダルと

グレーチームが対戦。熱い戦いが繰 選手たちの特徴を見極め、的確にア に試合が進められた。 ・バイスの声掛けをされる中 決勝トーナメントは、緑チ 順調

モラージュ柏×マルバの第2020年12月13日间、

ジュ柏で行われた。 ユ柏屋上のFFCモラー

決勝はトーナメント方式れ対戦。予選はリーグ戦

ッカー大会がモラージ 回マルバ全校合同ミニ

校の参加希望選手とビジ

ター

-の小学2

年生18人が参

今回の大会はマルバ各

で行われ、9時5分より



優勝

緑チーム

malvaサッカースクール柏校 生徒募集

大津祐樹×酒井宏樹サッカースクール(malvaサッカースクール柏校)は、 3歳~中学生を対象としたサッカースクールで、レベルに合ったクラス設 定。初心者でも楽しく気軽に始められます。

子どもたち一人ひとりの成長を最優先に考え、個性を最大限に引き出す ことを目指す。 子どもだけでなく、指導するコーチも、「子どもたちへの 接し方」や「言葉がけ」などを追求しながら子どもとともに成長し、サッカ 一の指導においては「|対|」を重要に考え、「相手を観ること」「選択肢を

持つこと」「駆け引きすること」などを、コーチが子どもたちに答えを教え るのではなく、子どもと対話をし、一緒に考えながらレベルアップを目指しています。



お問い合わせ↓

ホームページ

子どもと真剣に向き合いながら、大切に育ててきた子どもたちの中から、『サッカー 日本代表』や『フットサル日本代表』など、日本を代表する選手達が卒業生から生まれ 育ってきていることを誇りに思います。

冬の与論島あるある



鹿児島の離島『与論島』。美し い自然が残る島の風習を知る、 そんな一枚をご紹介。





南国・ヨロンにも冬は来る。というわけで今回は冬の与論島でよくある話、「冬の 与論島あるある」をご紹介しようと思う。

- ・「ものすごく寒い日」が年に数回しかないため冬服を買うのをためらう。買おうか迷っているう ちに冬が終わる。
- ・コタツに入りたいと思うけどあっという間に冬が終わることを知っているので買うのをためらう。 買おうか迷っているうちに冬が終わる。
- ・冬でもメインで着るのは半袖。ダウンジャケットの下は半袖。子どもはだいたい半袖半ズボン。 ・Ⅰ○℃で「寒い」と震える。「寒い」と言う割に暖かくする努力をしない。限界までひたすら耐える。
- ・冬でも足元は素足にサンダル。ダウンジャケットを着ていても足元はサンダル。寒いと思ったら 靴下は履くけど結局サンダル。
- ・子どもの冬服、出番が無いままサイズアウト。
- ・タートルネックのセーターを着ている人を島内でほぼ見かけない。
- ・手袋は持っていない。軍手ならあるけど。

こんな愛すべき与論島を本年もどうかよろしくお願い致します。 (写真・文 一般社団法人 ヨロン島観光協会 小高)

